

**秋田高専産学協力会**  
**秋田高専グローバル人材育成会**  
**合同イベント2020（あきたグローバル技術研究会（仮称））の開催について**

秋田高専は、日頃の地域連携の活動にご支援いただいている会員企業の皆様に感謝申し上げますとともに、国策でもある地域のオープンイノベーションに貢献する人財育成と技術創発に、今後ますます力を注いでいく所存です。

さて、昨年度開催の役員会にて役員の皆様にはお知らせいたしましたが、本校では植松康校長を発起人代表とした「秋田高専グローバル人材育成会」の発足に向けて、昨年10月から本格的に活動を開始いたしました。首都圏を中心とした企業の採用担当者様と秋田高専の就職担当教員との面談会を実施し、令和2年2月の卒業研究発表会における個別面談会では企業紹介を本科学生に対して行っていただく取り組みを展開しました。これらのイベントの開催などを通じて、65社（R2.6.23現在）の本会へのご賛同企業様との関係を築いてまいりました。おかげ様で、これらの取り組みは、企業様、秋田高専教職員・学生にとって実り多き成果となっております。昨今のコロナ禍の中ではありますが、本校では今年度9月を目処に本会の正式発足に向け調整中であります。

そして、本会発足後は、この様な取り組みを継続・発展させ、企業様と秋田高専の関係をより一層深め、人財を適材適所に輩出するべく教育プログラムを構築していく計画です。そして、これらの人財が近い将来、地域の振興に貢献する道筋形成のためには、産学協力会会員企業の皆様との一層の連携が重要と考えております。そこで、本年度新たに、産学協力会及びグローバル人材育成会合同での催しを企画し、秋田高専と地域内外の企業様とのより緊密な連携の契機となるような技術研究会（仮称）を開催したいと考えております。

今後の状況にもよりますが、本年11月頃の開催を予定しております。本企画では、基調講演として「産産連携の成功事例」、「秋田高専教員による産学連携成功事例」を題材とし、産産連携、産産学連携（地域内外の企業様と秋田高専など学術機関との連携）の必要性、地域のオープンイノベーションへの接続、SDGsなどについて皆様との認識を共有化する他、秋田高専教員・技術職員、秋田県内企業の技術シーズ等をポスター形式で発表し、皆様との討論の場を形成することを計画しております。

日頃のご支援に加え、繁忙の中でのお願いであることは重々承知しておりますが、産学協力会会員企業様のより一層のご支援とご協力をお願いする所存です。また、本会に対する忌憚のないご意見も頂戴いたしたく併せてお願い申し上げます。

秋田高専グローバル人材育成会 世話人代表 丸山 耕一  
事務担当 総務課課長補佐 工藤 奈緒美